

函館工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	総合英語ⅢB	
科目基礎情報							
科目番号	0185			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	社会基盤工学科			対象学年	3		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	Best Practice for the TOEIC L&R TEST (成美堂) A shorter Course in TOEIC TEST Vocabulary Quizzes (南雲堂)						
担当教員	高橋 眞規子						
到達目標							
到達目標: 1. 英語の基礎的な語彙、慣用句2600語以上を理解し運用できる。 2. 毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。 3. TOEIC500点レベル以上の語彙や高等学校学習要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	TOEICテストの500点レベル400語の80%以上を理解することができる。			TOEICテストの500点レベル400語の60%以上理解することができる。		TOEICテストの500点レベル400語の60%以上を理解することができない。	
評価項目2, 3	TOEICテストリスニングで160点以上取ることができる力を身につける。			TOEICテストリスニングで140点以上取ることができる力を身につける。		TOEICテストリスニングで120点以上取ることができる力を身につけることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
函館高専教育目標 E							
教育方法等							
概要	国際社会で活躍する技術者として必要な英語の基礎的コミュニケーション力を身につけることを目的とし、前期で目標とした350点からさらなる点数アップを目的とし、教材としてはT O E I C 500点レベルのものを使用する。そのため、前期で学習した基本的な英単語・文法を身につけているという前提で授業を進めていく。授業は、学習到達目標達成のために、TOEICのリスニング問題、語彙問題演を中心にe-learning等で行う						
授業の進め方・方法	①TOEICの問題演習を通じて英語運用能力を身につける。 ②毎時E-learningを使用して自学自習を課題とし、翌週の単語学習チェックテストを実施する。 ③教科書のWARM-UPのセクションは授業前に必ず各自E-learningにて実施しておく。 ④授業は主にTOEICの演習とデクテーション、シャドーイング等の実践の場とする。 本講義の内容は、T O E I C 500点レベル以上を取得するための①英単語、熟語の修得、②リスニング、リーディング問題演習が中心となる。JABEE教育到達目標評価: 定期試験60% (E-4)、小テスト20% (E-4)、課題20% (E-4) TOEIC試験に向けた①英単語、熟語の修得 (一週間に100語、計800語)、②リスニング問題演習、③文法問題演習が中心となる。小テストには単語テスト、毎回実施されるUNIT復習テストが含まれる。また課題は教材付属のE-learningの自習である。						
注意点	TOEIC400点以上の取得を目的として実施する授業である。教科書は500点達成を目標としたものを使用するので教科書の80%以上を習得理解できれば、TOEIC400点取得は可能であると想定している。学習の中心はTOEICの演習、および語彙習得である。授業中の居眠り、授業に関係ない行動 (PCやモバイル機器の指示以外の操作、漫画読み、内職など) は減点の対象とする。また、課題や提出物の未提出、提出遅れも減点対象となる。最低限、教科書の事前予習問題、語彙問題は予習して授業に臨むこと。それらは課題点に含まれる なお、前期のTOEIC学習を反映させるため、前期特別指導期間に実施されるTOEICテストで350点以上獲得した場合は、TOEIC点5点をボーナスとして総合成績に加点する。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	授業の進め方について解説		前期のTOEICの獲得点数をもとに、学年末までの目標を各自立案する		
		2週	Unit 1 Dining out		前置詞についての文法事項を理解できる 外出や外食の話題が英語で理解できる		
		3週	Unit 2 Offices		形容詞についての文法事項を理解できる。 オフィスでの英会話が理解できる		
		4週	Unit 3 General Business		接続詞についての文法事項を理解できる 一般的なビジネス会話が英語で理解できる		
		5週	Unit 4 Manufacturing		相関接続詞について理解できる。工場見学の際に使われる英会話について理解できる		
		6週	Unit 5 Communication		分詞構文についての文法事項を理解できる 電話やE-mailなどで使用する英語表現を理解できる		
		7週	Unit 6 Health		倒置表現についての文法事項を理解できる 健康についての話題が英語で理解できる		
		8週	中間試験		UNIT1-6までの内容について復習テストを実施し理解度を確認する		
	4thQ	9週	テスト返却 Unit7 Finance and Budgeting		間違った問題の正答を求めることができる。 受動態についての文法事項を理解できる 財政や予算についての話題が英語で理解できる		
		10週	Unit8 Entertainment		比較についての文法事項を理解できる 娯楽やエンタメについての話題が英語で理解できる		
		11週	Unit9 Purchasing		不定詞についての文法事項を理解できる ビジネスの購入取引についての話題が英語で理解できる		
		12週	Unit10 Corporate Development		副詞についての文法事項を理解できる 会社の研修等に使われる英語が理解できる		

		13週	Unit11 Technica Areas	関係代名詞についての文法事項を理解できる 技術文書を英語で理解したり、技術的な問題に対処する英会話を理解できる
		14週	Unit12 Travel	複合関係詞についての文法事項を理解できる 旅行に関する英語表現を理解できる
		15週	前期末試験	UNIT7から12までの学習事項の理解度を確認する
		16週	テスト返却	間違った問題の正答を求めることができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	--	--	--	-------	-----

評価割合

	試験	小テスト	課題				合計
総合評価割合	60	20	20	0	0	0	100
基礎的能力	60	20	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0